

(指定様式)

団体調書【はじめの一步部門】

(1) 団体概要 (※については登録団体は記入不要)

団体名	特定非営利活動法人 愛猟	HP 等 URL ※	https://aichiairyو.wixsite.com/wildworks
団体種別と設立年月	■ NPO 法人 (平成 31年 5月) □ その他法人 (平成 年 月) □ 任意団体 (平成 年 月)	活動分野 ※	鳥獣害対策事業・教育、講演事業・各団体支援事業
代表者名	役職名 氏名 理事長 鈴木 康弘	会員数 ※	15人
団体連絡先			
申請担当者			

(2) 会員名簿

役員等名簿	氏名	役職名	住所	生年月日
※ 5名のみ記入。ただし役員数5名未満の場合は構成員を加えて5名を記入。(必須)	鈴木 康弘	理事長		
	今中 健夫	副理事長		
	清水 潤子	理事		
	谷口 利典	監査		
	竹村 文男	会員		

(3) 団体の活動目的

活動の目的・目標 ※何を目標として活動しているのかを簡潔に記入	広く一般の市民に対して、鳥獣害被害や駆除についての情報発信や啓発のための広報・講演・教育活動、加えて狩猟者の育成に関する事業を行い、鳥獣害被害に関する理解の浸透や狩猟者数の拡大などに寄与することを目的とする。
活動の内容・活動実績 ※具体的に記入	「環境学習活動」：自然環境の移り変わり、鳥獣被害の説明、鳥獣の適正管理の講義・講習会 11/12「人と野生動物との共生を考える環境教育活動」ZOOMにて開催 12/20「人と野生動物との共生を考える環境教育活動」ZOOMにて開催 8/23「獣害対策プロジェクト」地域にて獣害対策を行っている狩猟者への協力依頼についても協議、愛知県新城市和田地区にて、地域住民を交えて今回の活動について検討、外部講師による獣害対策の講習会

(4) 補助金の使用用途と活用する活動・事業内容など

※補助金の使用用途、補助金を活用して行う活動・事業を具体的に記入してください。
当法人の、「環境学習活動」・「担い手育成事業」に於いて、鳥獣害の説明を行う時の資料製作（動画映像）の機材として備品を追加購入する。

鳥獣害の説明について、PowerPoint を使用して説明をしている。写真などを紹介し、被害状況や、野生動物の写真を使用しているが、説明終了後に、参加者より動いている動物の映像資料が見たいなどの要望があった。（参加者へのアンケート回答）

前年度、同様の「センサーカメラ」を購入し、映像の DATA を活用し、ZOOM にてイベント開催時に映像 DATA を使用したが、多くの鳥獣の映像が見たいとの追加要望もあった為、追加購入として今回の補助金を使用して映像記録用の「センサーカメラ」の購入し、今後の説明資料内に使用していく事とする。

購入備品：「センサーカメラ」 1台/63,580円（税込）

(5) 審査項目毎にアピールしたいこと

<p>【課題】</p> <p>・社会課題に対して、団体の活動目的が明確となっているか。（趣味や娯楽、特定の個人や団体の利益が目的となっていないか）</p>	<p>野生動物の増加により、人間社会とのバランス関係に変化が生じています。それによって農林業被害、自動車や列車との追突事故、土砂流出、希少種の損失、感染症問題などが心配されます。しかし、この問題に取り組む狩猟者は高齢化により減少し、今までの狩猟技術が失われようとしています。</p> <p>愛猟は、狩猟者の育成と安全・安心な狩猟文化の形成をのためのセミナーを行い、生物多様性・里山保全等を含めた野生動物との共生共存を図る社会実現を目指し活動しています。</p>
<p>【資金】</p> <p>・団体の自主的な財源を確保しようとしているか（会費・参加費等）。</p>	<p>立ち上げて年数が浅く、活動の財源が少ないのが現状ですが、小学校への環境学習や、愛知県主催のセミナー、自主のセミナーを定期的で開催し、会員数を増やし会費、参加費を徴収しながら収入源を確保していきたい。</p>
<p>【継続性】</p> <p>・団体の組織的な活動ができる体制が整っているか。</p> <p>・適正な事業計画が作成されているか。</p>	<p>愛猟は、現役猟師が立ち上げた NPO です。会員は、現役猟師のみとなっており、狩猟技術を熟知した会員が多くおります。</p> <p>15名の会員による、定期のセミナーの開催を行い、狩猟者育成を行っている。又、会員による定期的な情報交換会を行う日々、情報共有を行っている。映像の資料は、今後の鳥獣害対策で活用します。映像 DATA を分析し、各地域での鳥獣種別の判別等で活用できます。</p>